

報告事項

(1)伊勢市の主な事業概要について

【資料 2】



伊勢市業務継続計画 新型コロナウイルス感染症対策編の策定

令和3年6月

「伊勢市業務継続計画～新型コロナウイルス感染症対策編～」を策定しました。

職員の出勤割合が概ね60%以下となった部署が発生した場合に計画を発動し、各部署での業務をA～Cに分類し、優先区分に沿った対応を行います。

伊勢市業務継続計画

～新型コロナウイルス感染症対策編～



令和3年6月

5. 危機管理部危機管理課

係	業務名	業務区分
防災危機管理係	(1) 防災会議に関すること。	C
	(2) 地域防災計画作成の統括に関すること。	C
	(3) 災害対策本部の統括に関すること。	A
	(4) 地震災害警戒本部に関すること。	A
	(5) 気象情報等の収集及び伝達に関すること。	B
	(6) 防災知識の普及及び啓発に関すること。	C
	(7) 自主防災組織に関すること。	B
	(8) 防災行政無線の管理運営に関すること。	B
	(9) その他防災に係る総合調整に関すること。	C
	(10) 国民の保護に関すること。	C
	(11) 危機管理に関すること。	C
防犯係	(1) 防犯推進協議会に関すること。	C
	(2) 防犯意識の啓発に関すること。	C
	(3) 自主防犯活動の推進に関すること。	C
	(4) 防犯関係機関及び関係団体との連絡調整に関すること。	B
	(5) 防犯灯・防犯カメラに関すること。	B
	(6) 不当要求に関すること。	B
	(7) その他防犯に関すること。	B
	(8) 課の庶務に関すること。	B
	(9) 部の庶務に関すること。	B
	(10) 部内の調整に関すること。	B

優先区分A：継続業務

優先区分B：縮小業務

優先区分C：休止業務

感染症対策物品の購入

新型コロナウイルス感染症の感染防災対策として、令和3年度に以下の感染症対策物品の購入・備蓄を行いました。

品目(感染症対策目的)	数量
避難所用アルミマット	600枚
避難所用サーモグラフィカメラ	20台
避難所用パーテーション	458張
避難所用簡易ベッド	135台
避難所用簡易ベッド(ワイドサイズ)	235台
レジャーシート	2,000枚
アイソレーションガウン	1,500枚
フェイスシールド	900セット
ポリグローブL	60箱
ポリグローブM	60箱



三重県に対して新型コロナウイルス感染症に関する要望書を提出

新型コロナウイルス感染症の陽性者に対する三重県を主体とした避難者対応方針について、伊勢市を含む「三重県下14市防災担当者会議」で協議を行い、三重県に対しての要望書を作成・提出しました。

三重県に提出した要望概要

新型コロナウイルス感染症の陽性者(自宅療養者・入院調整中)に対する三重県を主体とした避難者対応方針について

現状：昨年は陽性者については全員入院となっていたが、現在は自宅療養者あるいは入院調整中の方は自宅で生活している。三重県から自宅にいる陽性者の避難対応方針は示されておらず、現状では市の資源だけで対応せざるを得ない。内閣府からの新型コロナウイルス感染症への対応に関するQ&Aでは、下記赤枠のとおり示されている。



新型コロナウイルス感染症の場合は、軽症者等であっても、感染拡大を防止するため、宿泊療養施設等に滞在することが原則ですが、速やかに近隣の宿泊療養施設等に避難することができない場合には、まず避難所に避難し、避難先の宿泊療養施設等が決まるまで、待機していただくと考えられます。自宅療養者が避難所に避難する場合は、「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応の参考資料」(第2版)について(令和2年6月10日、府政訪第1262号等)の避難所レイアウト(例)等を参考に、適切な対応を検討します。

自宅療養者が一般の避難所へ避難した後、都道府県の災害対策本部及び保健所等の調整・指揮の下、宿泊療養施設等の被災状況や居室の状況等を確認し、対応可能な宿泊療養施設等を優先的に、すみやかに移送を検討します。

出典：内閣府ほか「新型コロナウイルス感染症への対応に関するQ&A(第3版)」

要望：自宅療養者および入院調整中の方が災害時にも安心して避難できるよう、以下を要望します。

- ①災害発生が予見される場合、陽性者が避難所へ避難することがないよう宿泊療養施設への受入れを検討すること。
- ②宿泊療養施設への受入れは平時のルールにとらわれず、各市と協力し、優先順位をつけて受入れを検討すること。
- ③宿泊療養施設に受け入れきれない場合、県が主体となって必要な資源(ヒト・モノ・場所・情報)を確保すること。
- ④上記対応を早急に決定し、各市町に共有したうえで、避難所開設に向けた具体的な調整を行うこと。

三重県に提出した要望書

事務連絡
令和2年5月19日

三重県防災対策部
防災企画・地域支援課長 様
災害対策課長 様

三重県下14市防災担当者会議 会長
伊勢市危機管理部危機管理課 課長 大桑 和寿

新型コロナウイルス感染症の陽性者(自宅療養者・入院調整中)に対する
三重県を主体とした避難者対応方針について(要望)

平素は各市の防災行政に対して精力的な御協力をいただき厚く御礼申し上げます。
さて、お禮の件に際しまして、三重県下14市で防災に関する取り組みの連携共有を目的として設置している「三重県下14市防災担当者会議」を7月15日に開催し、新型コロナウイルス感染症の陽性者(自宅療養者・入院調整中)以下「陽性者」とする。)に対する避難者対応について意見交換を行ったところ、喫緊に解決すべき共通の課題であることが共有できたため、下記のとおり要望させていただきます。

記

1 要望内容

- (1)台風接近などにより災害発生が見込まれる場合には、指定緊急避難場所等での感染拡大を防ぐため、陽性者が指定緊急避難場所等へ避難することがないよう事前の宿泊療養施設への受入れを含め検討すること
- (2)宿泊療養施設への受入れは平時のルールにとらわれず、各市と協力して陽性者の居住場所のハザードを把握するとともに、身体の状態などから優先順位を付けて、可能な範囲で受入れを検討すること。
- (3)県内の感染者が増加した場合には、宿泊療養施設で受け入れできる陽性者を超えることが想定されるため、三重県が主体となって陽性者の避難に必要な資源(ヒト・モノ・場所・情報)の確保を行うこと
- (4)これらの対応方針を早急に決定し、三重県市町等防災担当者会議などの場で共有したうえで、各市町と避難所開設に向けた具体的な調整を行うこと

2 添付資料
・三重県下14市防災担当者会議に関する規約
・要望概要説明資料

3 要望に賛同した防災主管課長の一覧

(1)津市	防災室	上野 功夫
(2)四日市市	危機管理室	伊藤 誠也
(3)伊勢市	危機管理課	大桑 和寿
(4)松阪市	防災対策課	北川 高宏
(5)桑名市	防災・危機管理課	都築 琢
(6)鈴鹿市	防災危機管理課	永井 洋一
(7)名張市	危機管理課等	谷本 佳司
(8)尾鷲市	防災危機管理課	尾上 廣宣
(9)鳥羽市	総務課	中村 聖也
(10)亀岡市	防災対策推進課	林 正明
(11)いなべ市	防災課	伊藤 高道
(12)志摩市	地域防災室	前田 和久
(13)伊賀市	総合危機管理課	城北 博章

以上

避難所における新型コロナウイルス感染防止対策

令和2年度に
「指定避難所における新型コロナウイルス対策マニュアル」
を作成。

新型コロナウイルス感染症に対応
した避難所開設・運営マニュアル

伊勢市

vol. 4

旧大湊小学校にて
マニュアルに基づいた伊勢市避難所モデル検証訓練を実施（職員 約80名参加）

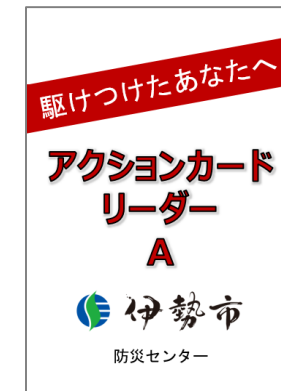


居住地区別参集を前提とした 災害時初動対応訓練の実施

勤務時間外に南海トラフ地震が発生した場合を想定し、**居住地区から近い参集場所**（令和3年度においては伊勢市防災センターと小俣総合支所の2カ所を実施）にて災害時初動対応訓練を実施しました。

本年度は同じシナリオで、職員が分散して参集した場合と1カ所に参集した場合とで比較し、現実的に起こりうる分散参集での課題を抽出しました。

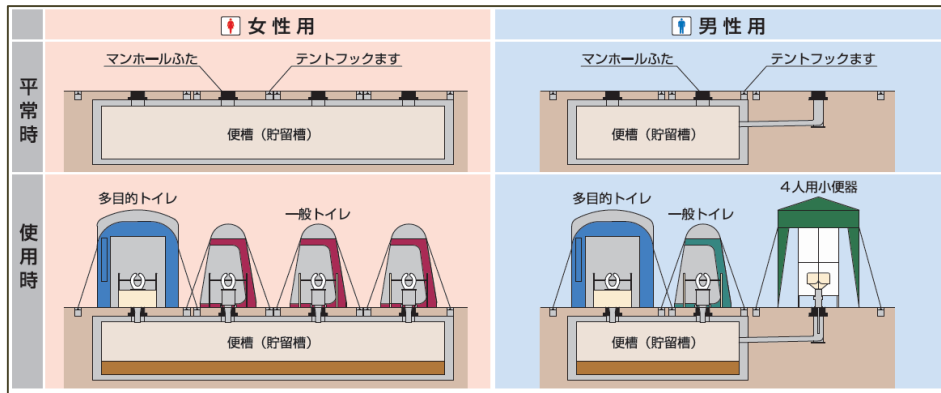
災害時初動対応
アクションカード
(マニュアル)



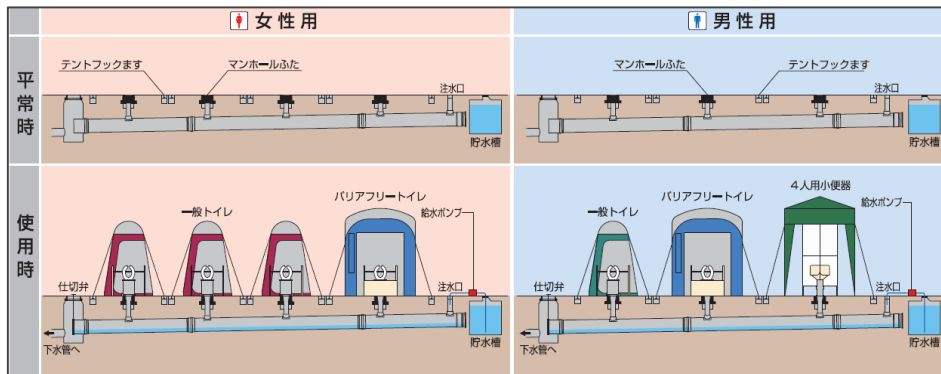
マンホールトイレの整備

令和元年度～令和4年度（4年間）で
マンホールトイレ20箇所を整備します。

◎マンホールトイレ(貯留型)のイメージ



◎マンホールトイレ(下水道流下型)のイメージ



貯留型

No	避難所名	基数	施工年度
1	城田小学校	11	R1年度完了
2	四郷小学校	11	R1年度完了
3	修道小学校	12	R2年度完了
4	伊勢宮川中学校	13	R2年度完了
5	倉田山中学校	28	R2年度完了
6	伊勢市生涯学習センター	21	R2年度完了
7	佐八小学校	10	R3年度完了
8	上野小学校	11	R3年度完了
9	城田中学校	16	R3年度完了
10	旧沼木中学校	13	R3年度完了
11	宮山小学校	11	R4年度予定

下水道流下型

No	避難所名	基数	施工年度
1	明野小学校	19	R2年度完了
2	小俣小学校	18	R2年度完了
3	厚生小学校	8	R3年度完了
4	早修小学校	11	R3年度完了
5	小俣中学校	16	R3年度完了
6	五十鈴中学校	24	R3年度完了
7	中島小学校	11	R4年度予定
8	進修小学校	13	R4年度予定
9	二見浦小学校・二見中学校	19	R4年度予定



R1、R2年度完了
R3年度完了

伊勢市防災大学の実施

日時	講座内容	場所
○第1回 7月18日(日) 10:00～12:00	・開校式 ・防災基礎講座 ※オンライン (ZOOM使用) (三重大学 川口淳 准教授) 巨大災害から地域と生活を守るための基礎知識と心構えについて学びます。	防災センター 4階 多目的ホール
○第2回 8月22日(日) 10:00～12:00	・避難スイッチ ※オンライン (ZOOM使用) (香川大学 講師 竹之内 健介 氏) 避難の目安や災害が起こる意識など、自分の中の危機感を感じる「スイッチ」について学びます。	防災センター 4階 多目的ホール
○第3回 10月17日(日) 10:00～12:00	・クロスロードゲーム (伊勢市防災コーディネーター) クロスロードゲームを体験し、立場による考え方の違いや行動の違い、価値観を学びます。	防災センター 4階 多目的 ホール
○第4回 11月28日(日) 10:00～11:30 (講和:50分、 質疑応答・意見交換 15分～20分)	・震災語り部講話 ※オンライン (ZOOM使用) (一般社団法人南三陸町観光協会) 実際に震災を体験されたガイド(語り部)より、皆様に東日本大震災の体験談や、現在に至るまでの復興の道りをお話しいたします。	防災センター 4階 多目的ホール
○第5回 1月22日(土) 10:00～12:00	・災害時のこころのケア ※オンライン (ZOOM使用) (兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏) 災害時にこころの健康を守るためにできることを学びます。	防災センター 4階 多目的 ホール
○第6回 2月20日(日) 10:00～12:00	・防災食クッキング ※オンライン (ZOOM使用) (だんだんキッチン 大須賀 由美子 氏) 身近な食料や道具を使って、災害時にもできる調理の実習と試食をします。	防災センター 4階 多目的 ホール
○第7回 3月13日(日) 10:00～12:00	・学んだこと発表会 ※オンライン (ZOOM使用) 受講者のみなさんが学んだことや、今後に向けての抱負等を発表します。 ・修了式	防災センター 4階 多目的ホール



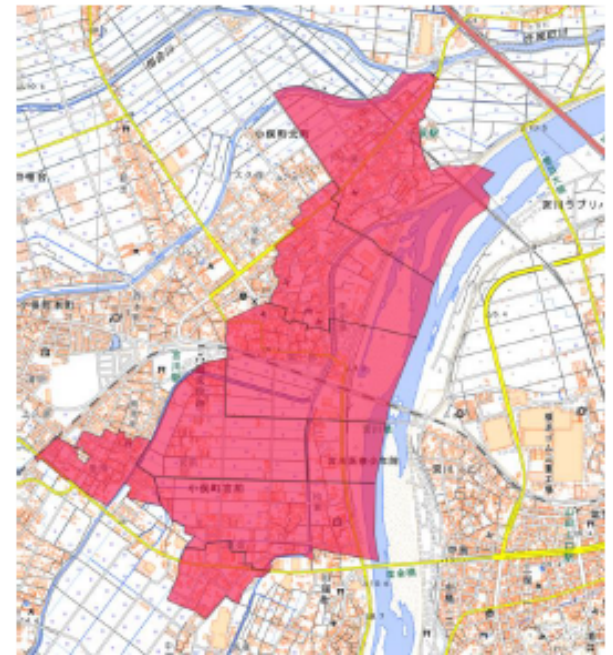
危機管理型水位計で水害に備える

プロジェクトの概要

「汁谷川みんなで地域観測プロジェクト」

目的

身近な地域の観測を地域防災へ活用する方法をみなさんと話し合います。そのために、水位計や地域で気をつけるべき雨のことを知るとともに、地域との関係もよく知ることが大切です。水位や地域の様子をみんなで確め、地域でどう行動するか、一緒に考えていきましょう。



令和3年度河川砂防技術研究開発公募 河川技術部門河川技術・流域管理分野 提案型課題:地域課題(ローカル観測の地域防災への浸透過程に関する分析)の下で実施します。

主な関係者

- ①香川大学(竹之内・日野田)
- ②長岡技術科学大学(松田)
- ③大阪工業大学(田中)
- ④三重河川国道事務所調査課
- ⑤伊勢市監理課・基盤整備課・危機管理課

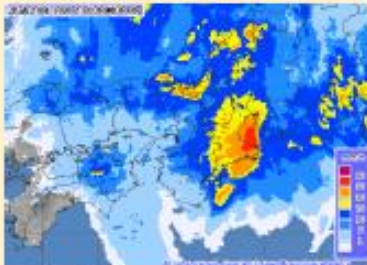
どんなことをする？

①水位計の活用方法を考えます



地域の状況に合わせて、水位計の活用方法を話し合います(今回)

③地域と雨の関係を確かめます



雨の動画などを利用しながら、気をつけるべき雨についてみんなで考えます(地域住民も参加し11-12月頃)

②地域の防災訓練で実践します



状況が変化する中で、どう行動するか、防災訓練で確認します(※11月以降に実施。時期等は相談)

④今後の取組を考えます



今後の地域での取組を考えます。必ず実施していくことを決めましょう(役員の方を中心に2月頃)